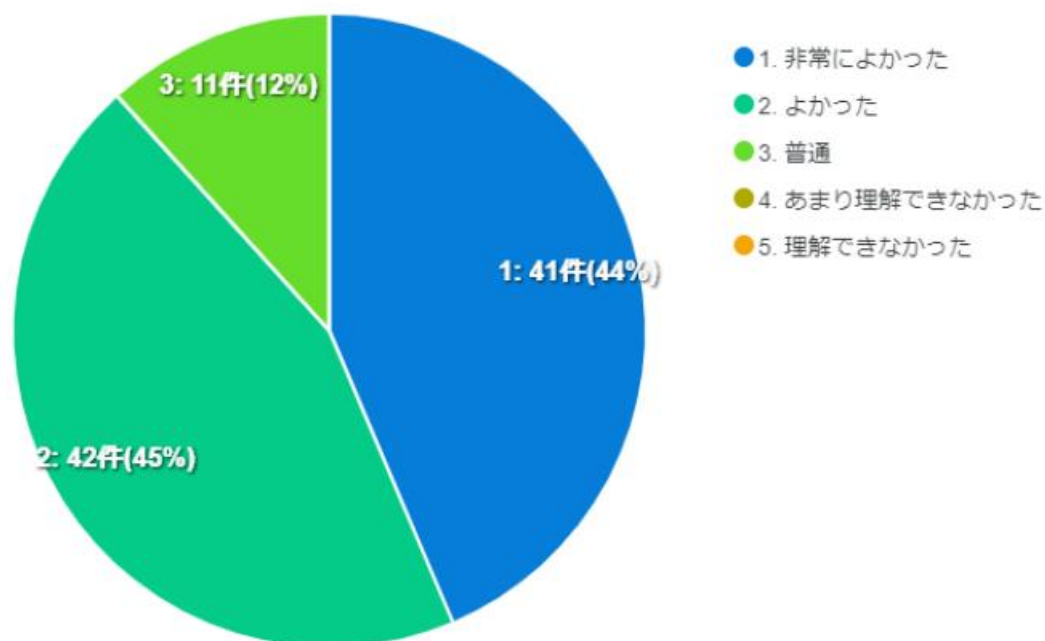


令和 6 年度愛媛県消防協会東予支部講座アンケート（結果）

1、講演の内容について



2、講演を聞いて、今後の消防団活動にどのように活かそうと感じましたか

- ・地域住民のリーダーとして災害環境を理解して市民を安全に守って行きたいと思います。
- ・火災などの活動経験を新入団員等に分かりやすく伝えて行きたい。又は、火災の怖さも同様に教育して行きたい。
- ・地域住民との連携。防災訓練での指導方法。
- ・初期消火の大切さ、近年の火災の傾向がわかってよかった。団員 1 人あたりの平均出場回数についても、災害のない社会が良いと思っていたが、経験の伝承が必要など、気づきを与えて頂いたのでよかった。
- ・大規模災害発生時には消火栓以外の水利確保の為に受け持ち地区内の河川、池などを利用した市街地における長距離中継訓練の検討の必要性を感じました。それと並行して大規模災害発生時には地域住民と協力して消火活動が行えるように場合によっては個人所有の池や水槽の使用をお願いできるように普段から地域社会に理解を求める活動も必要であると感じました。
- ・団員や地域住民への指導教育に活用したい。
- ・初期始動の大切さを痛感しました。でも、消防団だけでは難しいってことも、だから、地

域の人たちとの連携が必要大切だと思った。災害を最小限に留めるその為に欠かせない事だと思いました。

- ・災害時の消火活動の難しさを痛感する。平素から地域住民の理解を得るため声かけを実施していきたいです。
- ・改めて初期消火の大切さを知り、団員に教育していきたい。
- ・大災害をまだ、経験がない為、他の地域の方々のようにできるのか不安ではあるが、今までの事例、また、情報媒体を有効に活用し、対策を考えておくことが大事だと勉強になりました
- ・初期消火と消火器設置の重要性を周知したい。
- ・災害時、どのように取り組むか検討したい。
- ・本日頂いた資料を活用し、火の怖さ初期消火の大切さ、災害における消防団活動のあり方など講座で学んだ事を伝えたいと思います。また、最後の火災現場に行っていない団員には動画を通じ研修したいと思います。
- ・発災したあとの30分が火災を防止するのに大事であり、対応が出来ていないのも事実である事が理解できた。今後は今までの経験を後進に伝承していきます。
- ・主な内容を団員等に伝えるのと、改めて火災現場の危険性を認識しました。
- ・地震発生時の消防団活動のあり方。
- ・他の消防団との連携をより深めたいと思います。
- ・火災での初期消火の大事さ、住宅への消火器の設置
- ・火災発生時の初期消火が、大切である事を再認識出来る内容でした。また、それが避難誘導や延焼防止になる事が解りました。ありがとうございました。
- ・より一層住民の方と消防団の相互理解を深め、有事の際は初期消火や人命救助に協力してあたりたい。
- ・地震発生時の水利確保場所の確認。
- ・地震発生時の初期消火に関する話し合いをする。
- ・初期消火重要性を団員周知し、また、住民に協力要請の必要がわかりました。
- ・若手団員への教育、現場での心得。
- ・消火、人命は初動が大事だと言う事を団員に伝えたいと思います。
- ・火災経験者が減っている中、幹部としてうまく伝承していきたい。
- ・火災被害を少なくする為に住民の方々に初期消火の大切なことをアナウンスして、その為には40パーセント程しかない消火器の設置をお願いしようと思います。
- ・結婚後、地元に住んでいないので、出勤があれば遅れますが、今後も地元の為に少しでも協力出来ればと思います。
- ・消防活動は、住民にも協力を依頼しないといけないという意識を周知させたい。
- ・火災が少なく、出場回数が減少しているのは良いことではあるが、その分団員の経験値も低下していくので、伝承していくことが大事だと感じた。

- ・災害が起きた時の事を想定して今何をすべきか、何をしておくべきかに関しては、大変勉強になった部分が多く良かったと感じました。今回の講座で学んだ事を、他の消防団員や地域の方々にもお伝えし、今後の活動に活かして行きたいと思います。
- ・今回の資料を回覧し、情報の共有と各人の意見集約をおこないます。出来ること、やらなくてはならないことを机上で討論します。普段の点検でも消火栓が使えない事を想定して点検と訓練をおこないます。
- ・火災警報器、消火器の普及率が想像よりもかなり低かったので、免震ブレーカーやブレーカー切断器具と合わせて常に勧めなければいけないと思いました。また、自治会活動などを通じて災害発生時に孤立者、逃げ遅れを出さないよう、コミュニティの重要性を醸成しないといけないと感じました。
- ・住民皆さんの協力が大変必要だと思いました。
- ・火災対応の体験などを伝えていきます。
- ・火災には初期対応が重要だと再確認いたしました。水利の位置など再確認して火災災害対策を行って行こうと思います。
- ・火災はもちろんのこと、今後来るだろうという南海トラフ地震に備えて、火災活動の話をしておきたいと考えます。
- ・災害に備え、地域住民の災害弱者の把握と対策を考えておきたい。
- ・各種災害に対して、データ分析による戦術、対応などの重要性に気付かされ、とても良い講義でした。
- ・統計学をたくさん用いて初動消火活動の大切さを説かれ、理解しやすかったです。今後、住民に向けての防災講習でも応用できる箇所があったように感じました。私はマッチやライター、学校の焼却炉は知っていますが、若者は触れたことがないと言われ、改めて火の怖さを知らない世代がどんどん増えていることがわかりました。年 1 回程度の避難訓練だけでは実際、火災現場に遭遇したとき、体が自然と動かないだろうなと思いました。マンションの防火管理者なので自分事として考えていきたいと思っています。女性団員にも情報共有をして、予防活動に取り入れて欲しいです。

3、今後の講演等について希望があれば記入して下さい。

- ・市レベルでも全ての消防団員にこのような講演を開催してほしいと思います。
- ・過去にあった地震や災害の検討の内容。
- ・大変、有意義な講義でした。今後の開催について継続してお願い致します。
- ・講義をもう少し短く、1 時間くらいにしてほしい。
- ・被災地の方の体験談を聞きたい。
- ・大規模災害が発生した場合に、消防団が担当地区において自発的に取るべき行動について学ぶ講演を希望する。

- ・火災の消火模擬施設の体験をしたいです。
- ・消火栓が使えない場合の消防団の対応の方法。
- ・消防士の消火活動講演等も参考になると思うので聞いてみたい。
- ・特にありませんが、このような研修会を細分化し、末端の団員に聞かせる必要がある。
- ・過去に災害等に遭遇し活動を行った消防団の方の生の活動報告をきかせてほしい。
- ・震災体験談。
- ・若い団員、幹部の心得について。
- ・南海トラフ地震の発生が危ぶまれているので、地震発生時の対応について知りたい。（実際に体験された消防職員や元団幹部の方に）
- ・消防団運営の講演を聞きたい。